

箱根山 平成 17 年（2005 年）年報

○平成 17 年の概況

8 月に一時的な地震増加がありました。火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○火山情報

火山情報の発表はありませんでした。

○地震の発生状況

8 月 14 日 17 時～21 時にかけて、駒ヶ岳の浅い所を震源とする地震が一時的にやや増加しました。14 日の地震回数は 12 回で、このうち最大地震は M（マグニチュード）2.2 でした。神奈川県温泉地学研究所によると、震源に近い箱根町強羅や二ノ平では揺れや地鳴りもあった模様です。その後、地震活動は落ち着いた状態に戻りました。

箱根山周辺ではこれまでもしばしば地震活動が活発になったことがあり、最近では 2004 年 2 月に大涌谷周辺を震源とする地震の一時的な増加がありました。2005 年 8 月の活動は、2004 年 2 月に比べると最大地震の規模、総回数ともに小さいものでした。それ以外は、地震活動は静穏に経過しました。

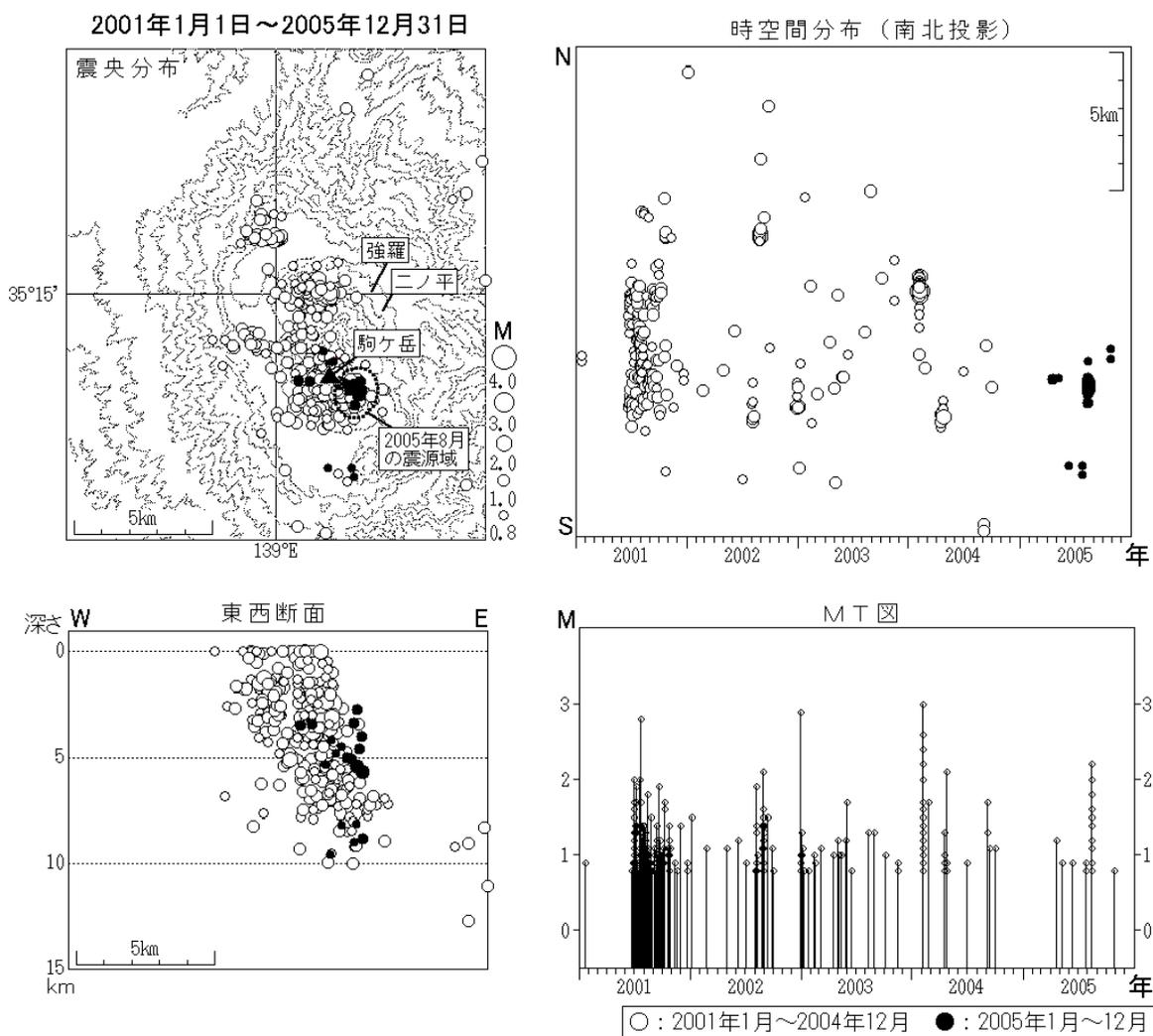


図 1※ 箱根山 2001 年 1 月～2005 年 12 月の地震活動（ $M \geq 0.8$ 、広域地震観測網による）

※この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータ等も利用して作成しています。

○噴気活動の状況

2005 年 2 月に実施した調査観測によると、大涌谷では硫化硫黄臭を伴う噴気が、数カ所確認されました (図 2)。

○熱の状況

2005 年 2 月に実施した調査観測では、大涌谷の噴気温度の最高は約 100℃で、前回 1994 年の機動観測時 (最高温度約 100℃) と比較して、大きな変化は認められませんでした。

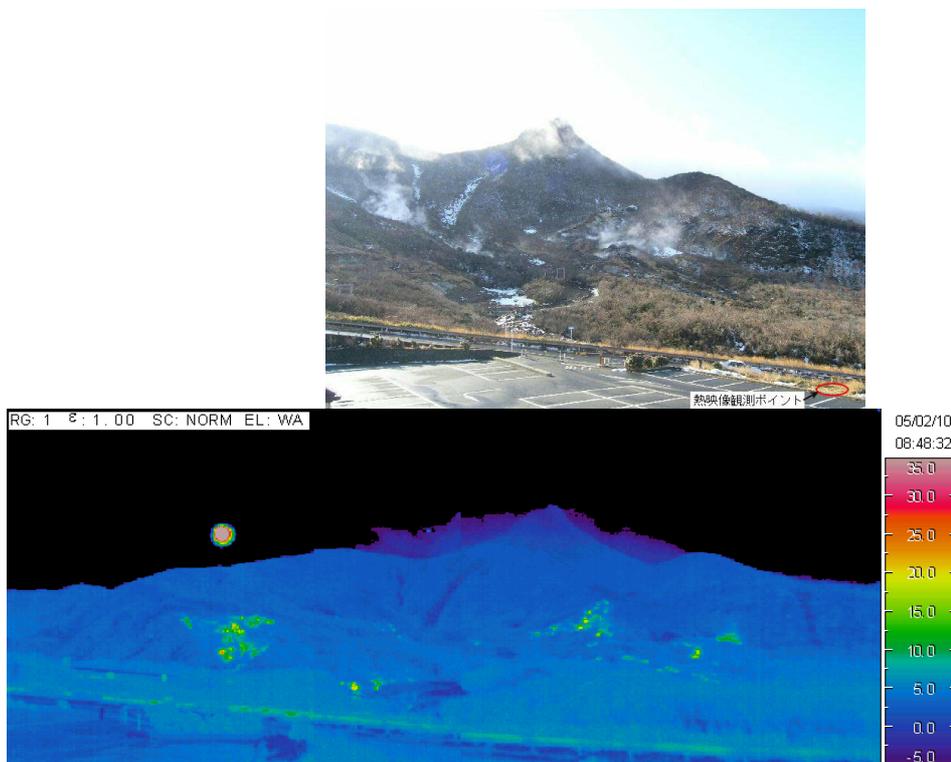


図 2 箱根山 大涌谷全景 (上段) と赤外熱映像 (下段) (2005 年 2 月 10 日撮影)
噴気地帯に対応する高温部分が認められる (左上の赤い円は太陽)

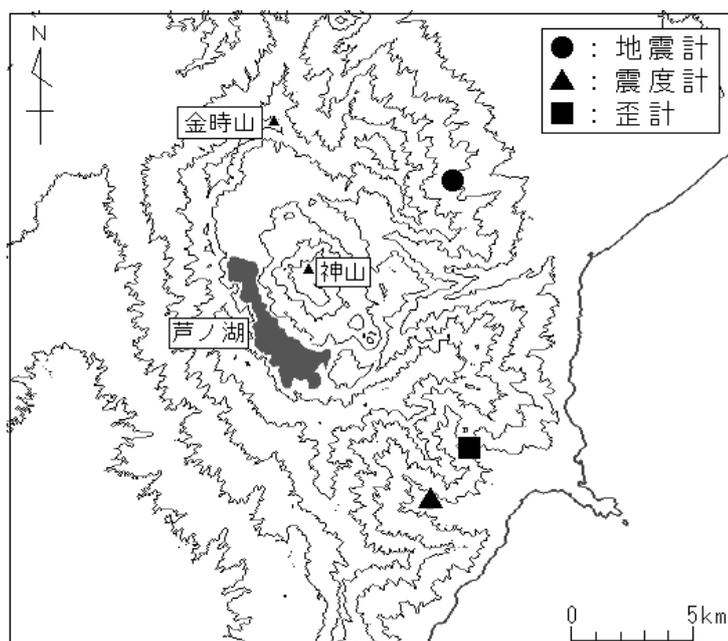


図 3 箱根周辺の気象庁観測点